

10209その他の繊維工業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	11~12	会社敷地内にて、被害者が荷物を両手で抱きかかえ、歩いて事務所へ戻る際に、事務所の前に停止していた加害車両の後方に接近したとき、停止していた加害車両が突然後退したため、被害者の正面から衝突し、被害者は後ろ向きに転倒して負傷した。	66	6	231	1~9
2	2017	12	13~14	会社の年末大掃除のため、20cm位の段差のある和式トイレで高い場所に手を伸ばしていたところ、長靴が滑って1段下に体ごと転げ落ち、左足を骨折した。	68	2	418	10~ 29
3	2017	12	16~17	工場内において、担当仕上機械の生地通し替え作業中に生地に添えていた左手先が金属ロールと樹脂ロール間の約1cmの隙間に巻き込まれてしまった。	44	7	163	100 ~ 299
4	2017	12	13~14	ワッペン付ミシンを使用しワッペンをミシンで縫い付けていた時、ミシンの針が右手の人差し指に当たり、1~2針縫ってしまいケガをした。	36	8	169	30~ 49
5	2017	12	13~14	工場にて糸の納品作業を行う際、乗りつけた2tトラック車の後部荷台の幌を開いた時に右肩を脱臼した。	36	19	921	1~9
6	2017	12	17~18	仕事終了し帰宅中、工場の玄関前で地面が凍結し、表面に少量の雪があった為に靴が滑り転んでしまった。転んだ時に手に荷物を持っていた為に地面に手をつく事が出来ずに頭部を地面に強く打ち付けてしまった。又、手も不安定な状態で転倒した為に左手肘を強打してしまった。	64	2	719	50~ 99

7	2017	12	11~12	当社工場内にて定置網組み立て時、網針と糸を使いロープと網を強く縛っていく作業中に負傷した。繁忙期であったため、痛めた当初はすぐに治ると思い病院に行かず仕事を継続していたが、1ヶ月経過しても痛みが治まらず、後日病院で受診した。	46	19	921	30~ 49
8	2017	11	9~10	採苗場で上に張っているネットを棒を使って移動させていた時に、ネットが引っ掛かり、気をとられて、海水タンク清掃のため開けていた直径1mの入口に足を踏み外して転落し高さ2m50cmの床に落ちた。	38	1	414	30~ 49
9	2017	11	9~10	不織布製造ラインのスパイクコンベアの綿クズを除去する作業中、通常ならツイストガンを使用するところ、手で作業してしまい、スパイクコンベアとそのローラーに左手を巻き込まれ負傷した。	61	7	224	50~ 99
10	2017	11	14~15	4F倉庫より3F出荷梱包場にパッキングケースを移動する際、階段で足を滑らし転落、背中中部を打撲した事故である。	69	1	413	30~ 49
11	2017	11	17~18	当社構内において終業時近くの掃除準備のため構内を見回り中、反毛機の横で上体反転移動の際に、右手に着用していた皮手袋の中指、薬指先端の余り部分が、不注意に機械歯車に触れてしまい、咄嗟に引き抜こうとしたが巻き込まれ、歯車間で中指先端及び薬指上部を詰めてしまったものである。	20	7	169	1~9
12	2017	9	12~13	繊維機械（VF-OPENER）の残綿を除去する為、停止スイッチを押した、停止から10分経過したと思い扉から手を入れ残綿を除去しようとしたが、まだシリンダーが回転していた為、左手親指、人差し指、中指を損傷した。	49	7	169	50~ 99
13	2017	8	3~4	積んである巻物（高さ1.2m程）から飛び降りたとき、足首を捻った。	30	3	611	50~ 99
14	2017	8	14~	作業場でウエスの原料であるももひきを切ろうとして、一度で切れなかったのもう一度裁断機にのせて切ろうとしたところ	51	8	169	50~

			15	ろ、引っ掛かり、指を切ってしまった。				99
15	2017	7	14~15	手動のハンドリフトでプラスチック製のパレット（高さ15cm、幅・奥行100cm）にダンボールケース2ケース（約100kg）を移動作業中、ハンドリフトを所定の位置に置く際に、パレットの前方で所定の場所に誘導していたところ、パレットを下に降ろした際に過ってパレットが右足にのってしまい、負傷したもの。	51	7	362	10~ 29
16	2017	7	11~12	会社にてトラックの荷台で製品を整える作業中に転落し負傷した。	59	1	221	1~9
17	2017	7	14~15	ドローイングの3m用バックフレームの作業台にて、糸切れ確認等の作業中に高さ約40cmの作業台から左足を踏み外しパイプ上で足をひねった状態で床に着地して負傷した。	38	1	419	100 ~ 299
18	2017	7	17~18	ニートルマン台上でメンテナンス作業後、マシンから降りる際に、階段を踏み外し、左第5中足骨を骨折。	49	1	413	10~ 29
19	2017	7	8~9	当社、工場内に於いて、コンベア上の鋳物（砂付）をホイストクレーンで吊り上げるために、積み置きしていた鋳物を左手で引っ張った際、勢い余ってコンベアのエッジにつかまっていた右手（中指、薬指）の方へ倒れて、鋳物とコンベアに挟まり、負傷したもの。	40	7	231	50~ 99
20	2017	6	11~ 12	ノズル焼き処理場所にて処理中、誤って水分の付着したノズル（約9kg）を薬剤中に投入したため、左手から左肩にかかり、火傷をした。	37	11	341	1~9
21	2017	6	10~ 11	工場敷地内の屋外にて、フォークリフト乗車中に、停止していたところ、前方不注意の他フォークリフトに追突された。全身に衝撃が加わり、頸椎等を捻挫した。	25	6	222	50~ 99
			13~	ホットメルト機（7号機）の樹脂塗布場所で稼働中に、樹脂汚れの付着したゴムロール及び圧着用金属ロールを、ウエスを使				50~

22	2017	6	14	用して左手で掃除していたところ、回転中のロールにウエスが巻き込まれ、一緒に左手を挟み負傷した。	58	8	163	99
23	2017	6	17~ 18	工場にて、終業前の点検・清掃をしながら、反毛作業をしていたところ、誤って左手がVベルトに触れてしまい、左手中指、小指等を負傷した。	60	7	121	1~9
24	2017	6	8~9	第一工場内において、機械（スーパーカッター）で材料の裁断を行っていたところ、材料の一部がローラーに貼りついてしまい、それを除去する為に手を入れたところ、機械の電源を落していなかったため刃が下りて来て、左手の指3本（中指、薬指、小指）を切断してしまった。原因としては、安全カバー及びセンサーが取り付けされていなかった事、機械の電源を落とさずに機械の確認をしてしまった事が考えられる。	33	7	169	10~ 29
25	2017	6	11~ 12	作業中、機械の脇の高さ80cm位の作業テーブルの上に置いていた工具（ダクト用の金切バサミ、2.5kg、長さ50cm位）が、はずみで落ちかけていたのを左手で掴んだが、逆手で持ったので支えきれずに腕を捻った。	69	19	364	1~9
26	2017	6	15~ 16	シートの反物を、裁断するために持ち上げようとした際に、腰に違和感があった。最初は痛みだけだったが、徐々に右足が痺れる様になり、座っていることすら困難になってしまった。	63	19	529	1~9
27	2017	5	16~ 17	当社敷地内で、テント部材を収めている棚より脚立を使用して部材の荷下ろし作業中に、バランスを崩して脚立より落下し、右足首と左肘を負傷した。	23	1	371	10~ 29
28	2017	4	18~ 19	フィルター加工場内1階作業場にて、Φ18長さ1400mmの鉄パイプ50本を台車に載せて搬送中に、被害者が無理に横から引き動かした際にバランスが崩れ、鉄パイプごと台車が被害者の右足の上に倒れ、右第一中足骨を骨折した。	36	7	362	30~ 49
				作業中に治具を取りに行き、戻って来る時に箱と箱の間を通				100

29	2017	3	13~14	る際に箱に引っ掛かり、躓いて転倒し、左膝を打撲した。	29	2	417	~ 299
30	2017	3	16~17	カード組立中、取り付けたストリッパーロールに不具合があった為、カード機から取り外し、元の仮置場にロールを戻す作業をしていた。中腰で担いで両サイド2名ずつで運搬中、受傷者は先頭をバックで進行していて、床置してあったファンシーロールのカバーに接触し、尻もちをついた際に左足を負傷した。	38	2	417	100 ~ 299
31	2017	2	10~11	工場内裁断場にて、延反台上に積み重ねたニット生地を裁断する際、裁断機のスイッチをオフにしてストップ状態を確認、及びカッター前部の保護バーを下げる（裁断中は保護バーは上げてある）この動作をせずに別の動作をしようとしたものと思われる。カッターに触れて負傷した瞬間の出来事は、直後に当人に確認したが、明確な返答がなかった為不透明ではあるが、この作業は裁断機の後方から右手で操作するものであり、右手のしかも親指がカッターの前に来る事は考えにくいものである。	44	8	169	10~ 29
32	2017	2	15~16	工場内にある織機内の本体と送り出しの間に、しゃがんだ体勢で後向きに入り、通常では行わない方法で糸を繋ぐ作業をしていた時、動いているシャフトに右そでがからまって、右腕を負傷した。（運転中の機械）	63	7	169	1~9
33	2017	2	11~12	集塵機を調査中に事故が発生した。依頼により集塵機の風の流れを調査した。ライン停止時に一時的に運転させた集塵機の、換気扇の一基に手を近づけた際、左手人指し指及び親指を吸い込まれた。	41	7	169	1~9
34	2017	1	7~8	いつも通り自宅を出て、会社に向かう通勤途上にて、何も支障なく会社敷地内の駐車場に到着して、車から降りる際に、右足を地面につけた時に体重がかかったために捻り、右足膝に激痛	49	19	921	100 ~

43	2016	11	7～8	倉庫で2階にはしごをかけて品物を取る為、登っている途中で、はしごの下の部分が滑り、はしごが倒れ、被災者が下に落ちて、左足を負傷した。	30	1	371	10～ 29
44	2016	11	16～ 17	作業場にて繊維織物機械に手を入れ部品交換した際に、機械の中の溶けた樹脂が手の甲にかかり負傷した。	58	11	169	1～9
45	2016	11	9～ 10	工場において、製品から出た縫製糸をカッターで切断する作業中に、誤って右手小指を切ってしまった。	40	8	364	10～ 29
46	2016	11	11～ 12	工場にて、コンピューター自動ミシンを使用して生地に刺繍をする作業中、生地が動かないように手で押さえていたときに、誤ってミシン針で左手示指をさしてしまった。	42	8	169	10～ 29
47	2016	10	17～ 18	編網作業中、機械の停止スイッチを押したつもりで、機械が停止した事を確認しないで、横糸調整の為、機械に手をついたところ、左手を挟まれ負傷した。	73	7	169	10～ 29
48	2016	10	22～ 23	ワーパー機に糸くずがついているようなので台に乗って確認。機械を止める為、台から降りようとしてバランスをくずし、左手がローラーにはさまった。	68	7	163	30～ 49
49	2016	9	15～ 16	工場設備の移転撤去作業に係る後片付け作業の一貫で、電気室の屋根上にて、不要となった高圧ケーブルの撤去作業中、屋根上の足場から足を踏み外し、屋根を破って電気室の床に転落し、左足首を負傷した。	36	1	415	50～ 99
50	2016	9	9～ 10	工場内ネット作業場において、ネットに取り付けるロープのカット作業を終え、リールから引き出されたロープを手動で巻き戻していたところ、リール蓋を固定するボルトが緩んでいたため、リールから蓋が外れて右足第1指の上に落ちた。	48	4	521	30～ 49
51	2016	8	14～ 15	自動ミシンを操作中に可動部分のシートがはがれかけていることに気がつき、本来機械を止めてから除去しなければならないにもかかわらず、無意識に右手にて触ったところ、右手小指末	46	7	169	50～ 99

				節を挟み込み負傷した。				
52	2016	8	10～ 11	倉庫内に格納している糸掛補助機を移動させようと2m程度縦に動かし、更に壁側に寄せようと斜めに押したところ、腰に痛みを感じた。	57	19	921	30～ 49
53	2016	8	15～ 16	工場内で渡り廊下を歩行中、立掛けてあった鉄板にけつまずき転倒した。	53	2	417	—
54	2016	8	14～ 15	段ボールを検査作業場へ運搬中に、通路の隅に保管してあった台車につまずき転倒した。その際、右膝に体重の負荷がかかり負傷した。	61	2	417	30～ 49
55	2016	7	17～ 18	足を滑らせて頭を打った。	43	2	416	1～9
56	2016	7	11～ 12	工場内で、ロープストランド製綱機から余分なストランドをさばいていた際、そのストランドの先が偶然、後ろの作動中の同種機械に絡みつき、引っぱられたストランドが左中指に絡みつき、先端を損傷。	54	7	169	1～9
57	2016	7	11～ 12	整経準備工場で経糸を整経する時に必要な箆という物が有り、その箆を保管してある棚から箆を抜き取ろうとした際に、通常棚枠1段に対し箆1枚入れてあるが、その時は枠内に2枚～3枚入っていて強引に抜いた時に、棚は6か所ネジ止めしてあったが、倒れ下敷きになり、その際に頭を切ってしまった。	51	5	379	1～9
58	2016	7	11～ 12	紳士服販売で紳士服の補正をする部屋で、ズボンの裾上げ作業中に、仕上げのロックミシンに移ろうとして歩いている時に、左足を滑らせ転倒してロックミシンの台の脚に、左肩及び上腕が激突し負傷した。	74	2	417	50～ 99
59	2016	7	15～	工場内で、自動溶着機を可動させて補強材の振れを修正する作業中、本来であれば自動溶着機の動きを停止させて補強材の振れを修正すべきところ、自動溶着機を停止させずに修正作業を	22	7	339	50～

			16	行った。その際、自動溶着機の駆動ライン上に左足が乗っていて、可動して来た自動溶着機と作業台の支柱との間に左足が挟まれ、親指を骨折した。				99
60	2016	6	16～ 17	粉碎工場で粉碎機に材料を送る前の調合をしていた。多量の材料が送り込まれ、粉碎機が止まったので詰まった材料を取り出し再可動確認後一度スイッチを切り止まるのを待っていたが残っていた綿が気になり取り除こうとして右手を負傷した。	57	7	162	30～ 49
61	2016	6	14～ 15	工場外付けタンクの整備点検中にセメント圧送管の上を歩き、足をすべらせ落下時、右足首内側を圧送管に打ちつけて損傷した。	64	1	391	10～ 29
62	2016	6	10～ 11	フェルト製造ライン工場で機械清掃中、ピットの真ん中の蓋1枚が、ピット内掃除の為、外された状態でそこを通る為、飛び越そうとしたが目測を誤って落下、その際となりの蓋に脇腹を強打し負傷した。	55	1	414	10～ 29
63	2016	6	8～9	工場にて、工事に使用するフォークリフト用サヤ爪をトラックの荷台から降ろして工場に運ぶ作業中に手が滑り、右足の上にサヤ爪を落とし親指と人差し指を負傷した。	49	4	611	10～ 29
64	2016	5	11～ 12	ウレタン製品に合成ゴム系接着剤の吹付工程にて、ウレタン製品の接着部分の貼り合わせ作業を実施していたところ、気分が悪くなり休憩室で3時間程横になっていたが、気分が優れず、診察を受けた。	36	12	514	10～ 29
65	2016	5	5～6	生産ラインを止めた後、延伸機の回転速度を150m/min～20m/minに減速し空運転を行っていたところ、延伸機のゴムロールのシャフト部分に糸くずが付いていることに気づき、低速運転だったので挟まれることはないと思い、延伸機の回転を停止させずに右手で糸くずを取り除いていたところ、誤って左手人差し指をスチールロールとゴムロールの間に挟んでしまい、指先を挫傷した。	51	7	169	10～ 29

66	2016	5	9～ 10	生地倉庫にて、生地収納ラックより生地（反物）を抜き出す作業をしているときに、踏ん張っていた右足を滑らせて転び、その場で右肩を強打した。	58	2	416	100 ～ 299
67	2016	4	15～ 16	工場内通路を歩行中に、一時置きしてあった半製品を積み上げてあるパレットからはみ出したPPバンドに足が引っかかり、前のめりに転倒し、右膝を強打した。	58	2	417	50～ 99
68	2016	4	15～ 16	工場内で巻き取られた繊維製品を乗せた鉄板台車を2人で移動させるため、台車を引く側として後ろ向きで運んでいた。台車の向きが悪かったため、力を入れて引っ張ったところ、左足の小指部分に台車の車輪が乗り上げ、骨折した。	61	7	362	10～ 29
69	2016	4	15～ 16	工場内において次の作業に移ろうと移動した際にカーテンをかける台に足を引っ掛けて転倒した。	64	2	391	50～ 99
70	2016	3	8～9	原料ボックス下のコンベアーに溜まったゴミを取り除くさい、機械を停止させないまま、道具も使用せず、目視できないにもかかわらずローラーコンベアに手を入れて、ゴミを取り出そうとし、コンベアーとローラーに左手を挟まれた。	43	7	224	10～ 29
71	2016	3	14～ 15	工場作業場において、靴下の仕上げの際、靴下に商品表示ラベルを付けるため、縫製用ミシンを使用中、右手示指の先端がミシン針に近づけすぎたため、同指にミシン針が刺さり負傷した。	35	8	169	50～ 99
72	2016	3	15～ 16	工場内において、UBボックス（布地の糊抜き精練作業に使用する機械）を用いて作業中、ロールに布が巻き付いたのを解くため蓋を開けようとネジを緩めたところ、誤って蓋を左足の親指の上に落とし、骨折する怪我を負った。	67	4	163	50～ 99
73	2016	3	9～ 10	被災者が開工口の床板を吊り上げる作業中、下に転落した。	72	1	414	10～ 29
			18～	タイムカードを押し退社し、その後駐車スペースに止めている				30～

74	2016	2	19	自家用車に向かって歩いていた。自家用車の1m手前でつまずき転倒、地面アスファルトであごを強打した。	49	2	921	49
75	2016	2	9～ 10	一階作業場で機械での生地幅だし仕上げの作業中に、機械に残った生地の耳端を取り除こうとして、指がはさまった。	66	7	169	10～ 29
76	2016	2	17～ 18	工場内にて紙管箱詰め、紙管の糸巻き取り作業途中、箱詰め完了した15～20kgのダンボール箱を両手で抱え運んでいた。抱えていた荷物を積み上げられたダンボールに重ねて置こうとした際、足元のバランス崩し、前倒れで転倒。荷物を抱えたまま右膝をコンクリート床に強打した。	52	2	417	1～9
77	2016	2	9～ 10	リング機でトラブルが発生し処置をしていた。隣のリング機のクリルスタンドにかかっている原糸に残りわずかなものがあり確認しにいこうとした時、下に置いてあった原糸につまずき転倒、その時に骨折した。	63	2	417	30～ 49
78	2016	1	14～ 15	不織布製造装置のウェブレイヤー部のコマの交換作業後、動作確認のため低速（15m／分）で運転していたところ、コマに異物を確認したので左手で取り除こうとしたところ、指を巻き込まれて受傷した。	26	7	169	50～ 99
79	2016	1	8～9	撚糸機械のフライヤ機作業中、第一撚糸が空になりかけた際、次の第一撚糸につないで交換しようとし、先の第一撚糸をボビンから残りをほどいていたが、この糸が指に巻きつき、糸の張力に抗しきれず、糸をほどく間もなく、右手中指先端を切損した。	71	8	169	30～ 49
80	2016	1	10～ 11	1列ラインにおいて、カーペットの原反巾替えを行なうため、巻き取り下に入り、スリッターを移動させていた際、スリッターの刃に右手甲を当て受傷した。	21	8	169	50～ 99
81	2016	1	22～ 23	工場内で、糸が切れて織機が自動停止したので、糸を結ぶ作業にとりかかり、終了したので寸動で織機の再起動のスイッチを押した際、左手を抜くのが遅れ、製糸を渡す器具（レピア）に	52	7	169	10～ 29

89	2015	11	17～ 18	タフト現場の2階において、ダンボールをパレットに積んでいた際、ダンボールの不揃いを直すのに足を蹴って直していた時、バランスを崩し1階の地面に足から落ちた。	57	1	416	30～ 49
90	2015	11	9～ 10	工場内で、フェルト接着のためエアカッターを打つ作業中、フェルトを抑えていた左手中指がフェルトの下のエアカッターの針が出てくる部分まで入り込んでいたが、それに気づかずエアカッターを打ち込んでしまい、左手中指の末節部に針が刺さって負傷した。	26	8	169	50～ 99
91	2015	11	1～2	仕上機出口振落として、出口振落としの紐が抜けた為、2人作業にて復旧作業を実施していた。1人が振り落とし機移動スイッチを操作し、もう1人が脚立に登り、紐の復旧作業を行った。紐を通すため振り落としを移動（後退）させた際、振り落としの土台と移動部の隙間に挟まれてしまった。近くの作業員がかけつけ、救助しようとして移動スイッチを操作したが、高さがあったため落下し、肩や腰などを強打した。	20	6	163	1000 ～ 9999
92	2015	10	11～ 12	ウエス加工場で、ウエスにするための台車に寝かせている1コ150kgの故繊維原料を3名で運び、立たせてから床に下ろす際、台車から引き抜こうとした時に原料が倒れ、避けきれず右ひざが原料と床に挟まれてしまった。	67	5	529	50～ 99
93	2015	10	14～ 15	工場において巻き上げ機を使って、家庭用レンジフィルターの原反にミシン目を入れ折りたたむ作業中、原反を付け替える際にローラーの下からフィルターの端を差し込もうとしたところ、止まっていたローラーが突然動きだしローラーに両腕が巻き上げられ肘まで挟まり負傷した。	53	7	169	1～9
94	2015	10	9～ 10	工場内で、研磨加工をしているとき、研磨不足のため、更に早く加工できるように力をかけてしまい、指を打撲した。手袋をしていなかったため、右手人差し指を骨折した。	27	19	153	10～ 29
				縦編ラッセルレース機にて作業中、巻き上げた反物を二人で下				

95	2015	10	6～7	ろす作業中にバランスを崩し、パイプを持つ手がすべり板の間に尻もちをついた。	62	2	417	10～ 29
96	2015	10	20～ 21	工場内で刺繍レース機の生地巻き上げ作業の際、スパナの装着不十分で巻き上げた為、スパナが外れ、その弾みで1.5m下の床に転落し、負傷する。	61	1	169	10～ 29
97	2015	8	8～9	製造機械が動いている場所で、フェルト製品が機械から出てくるのを手で運ぶときに、エアシリンダー式下段駆動上下ロールに入れる際、暗くて見えにくい場所だったため指先からロールにはさまれた。	28	7	163	30～ 49
98	2015	8	7～8	倉庫前において社内LAN配線の不良により、ラインの状況確認中、1人で高さ2.5mの脚立に上がって作業をしていた際、ライン確認後脚立から降りようとしたところ足を踏み外した為、落下し、アスファルトの地面で腰を打ち負傷した。	37	1	371	30～ 49
99	2015	8	15～ 16	カーペット巻き取り作業中に、カーペットのたるみが発生したので、補正しようと両手で回転中のカーペットロールを持ち上げようとしたところ、カーペットロールと巻き取りロールの間に両手の指先から20cm程巻き込まれた。巻き取りロールのモーターに負荷が掛りトリップ停止したが咄嗟に手を抜こうとして腰を痛めた。	51	7	169	50～ 99
100	2015	8	10～ 11	工場内で油剤と防腐剤を調合中に防腐剤の容器を倒してしまい、中に入っていた防腐剤が全員にかかってしまい、流水で洗い流したが不十分であったため水ぼうが出来爛れてしまった。	54	12	519	30～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。